平成 27 年 12 月号 Vol.56

～ヤマケイ通信～

いつもお世話になり、誠にありがとうございます。
師走に入り、木枯らしにひときわ寒さを感じる季節となりました。
今年も残すところあとわずか、一年が経つのは本当にあっという間ですね。
何かと気ぜわしい時期ですが、風邪などには十分にお気を付け下さい。
今月のヤマケイ通信は「正月飾り」についてご紹介させていただきます。(^_^)

日本の正月飾りといえば**「門松」・「しめ縄」・「鏡餅」**ですが、それぞれには大切な意味や由来があります。

門松を飾る意味

門松は正月飾りの中でも最も重要とされ、歳神様がそれぞれの家に訪れるための依代（よりしろ）と言われています。歳神様とは、その年の家族の健康や仕事がうまくいくよう幸せをもたらしてくれる神様です。
門松は歳神様が宿る安息所であり、下界に降りてくるときの目印とされ、歳神様に家の中まで入ってきてもらえるように門松を置きます。
つまり門松が置かれていない家は歳神様は通り過ぎてしまいます。
「門松が無い」という方は、門松の写真が印刷されたポスターでも効果はあるようです。
おそらく歳神様も苦笑いするとは思いますが ^^（笑）

しめ縄を飾る意味

しめ縄は神様がいる神聖な場所と現世を分け隔てるものであり、神聖な場所にけがれたものが入らないようにする為の結界として存在します。
つまり神社や神棚のように、しめ縄の内側は神様のいる神聖な場所という事です。
その神聖な場所に悪いものを寄せ付けないように守っているのです。
しめ縄を玄関に飾ることで災いが外から入る事を防ぐと言われています。

鏡餅を飾る意味

鏡餅は歳神様を迎えるために供えるお供え物です。
鏡餅が丸い形なのは円満を、2 つ重ねるのは**「かさねがさね」**を表し、円満に年を重ねるという意味があります。鏡餅にはお正月の間、歳神様が宿ると言われ、供えていた鏡餅を
鏡開きの日に皆で食べることで、そこに宿った力を分けていただくと共に、
一年間の健康や幸せを願います。

今年最後のヤマケイ通信となりました、毎月のご愛読、誠にありがとうございます。
来年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

Since1930
有限会社 山本圭商店
各種包装機用超硬カッター、セラミック加工、テフロン加工、各種表面処理加工、包装資材全般販売
〒537-0012 大阪市東成区大今里 3-11-24 TEL 06-6971-1347 FAX 06-6971-2201 www.tyoukou.jp